

# 中国における資本市場改革の動向

2013年2月4日  
野村資本市場研究所  
関根 栄一

## I. 世界有数規模の中国資本市場

中国株式市場の存在感（時価総額）  
中国株式市場の存在感（売買代金）  
投資信託マーケットの拡大  
中国の年金体系：自助努力型へのシフト  
中国の対外投資に関わる機関投資家  
中国の対日証券投資（株式）残高の推移  
対日証券投資（株式）の国・地域別の顔ぶれ  
中国の対日証券投資（債券）残高の推移  
対日証券投資（債券）の国・地域別の顔ぶれ

## II. 中国資本市場の制約と課題

日米中のGDP  
社会融資規模（1）  
社会融資規模（2）  
日米中の貯蓄率  
中国株式市場と投資家  
機関投資家の育成が課題  
株式発行の推移  
上海と深圳の二つの取引所  
中国個人金融資産（1）  
中国個人金融資産（2）  
中国株式市場の多層化（多様化）の動き

## III. 中国上場会社の法的枠組み

中国の法規範相互の優劣関係  
中国の証券法体系  
「新会社法」と「新証券法」の制定  
新会社法的主要改正点  
新証券法的主要改正点

中国証券監督管理委員会

(参考) 中国の金融・資本市場の管理監督

中国の株式発行制度改革

上場会社の定期報告の開示時期と開示内容

会計制度と監査

不公正取引規制

中国証券監督管理委員会による行政罰の対象

上場会社の機関設計とガバナンス

上場会社の独立董事の制度設計 (証監会の指導意見) (1)

上場会社の独立董事の制度設計 (証監会の指導意見) (2)

上場会社の独立董事の制度設計 (証監会の指導意見) (3)

独立董事の実態 (上海証券取引所の調査)

#### IV. 外国人投資家としての QFII

QFII (適格外国機関投資家)

QFII の運用枠の認可動向

QFII の分類

#### V. 今後の改革に向けた展望

2015 年までの中国の金融分野の改革プログラムの公表

証券業のルール化された発展の促進 (第三章第二節)

外資系証券会社による現地拠点の構築

日中金融協力合意

日中金融協力合意の進捗状況 (2011 年 12 月末～2012 年 6 月末)

# 韓国における資本市場改革の動向

2013年2月4日  
野村資本市場研究所  
関 雄太

## I. 韓国の金融構造：潮流と課題

銀行中心の金融システムからの脱却、証券業界・資産運用業界の強化を狙う  
財閥中心の産業構造、企業投資・輸出主導の経済構造  
アクティブな個人投資家は多い一方、機関投資家はまだ未成熟  
韓国の資本市場改革の経緯：IMF 救済からの脱却後、グローバル化を志向  
韓国の金融ハブ構想（自国の力で金融センターを作り上げようとする韓国）  
韓国企業部門の資金調達構造（直接金融の比重拡大）  
個人金融資産の動向（依然として現預金比率が高いが、株式などの配分も拡大）

## II. 韓国の株式・債券市場

韓国取引所（2005年に統合・総合取引所化）の構造と現物証券市場  
外国企業の誘致と取引システムの輸出を図る韓国取引所  
世界最大の取引規模に発展した韓国上場デリバティブ市場  
韓国株式市場の特徴（オンライン取引、外国人保有比率の高さ）  
韓国債券市場の特徴（社債市場が先行して拡大、近年、国債市場も拡大）  
国内企業の社債発行中心に拡大する韓国の社債市場

## III. 韓国のコーポレート・ガバナンスを巡る議論

近年再び拡大傾向を見せる韓国財閥  
韓国企業のコーポレートガバナンス関連改革（社外取締役・監査委員会の制度化）  
韓国の資本市場改革（グローバルな資本市場整備を進め、一定の成果）  
新政権の経済政策の課題（経済成長の停滞、ウォン高、急速な高齢化進展など『日本病』に立ち向かわなければならない）

以上